

紙芝居

はだしのゲン 第三卷

1991年4月発行 (16場面)

発行者 吉元 尊 則

発行所 株式会社 汐 文 社

東京都文京区本郷1-26-10
電話03(3815)8421

印刷・製版 懶飛来社



紙芝居

はだしのゲン

第三卷

①

中沢啓治 作・絵

ゲン 「わしや、ゲンじや。

元気のゲンじや。

わしや、どんなに苦しいことがあつて
もめげんぞ。

みんなもめげるな。

わしや、元気のゲンじや。」

……ぬく……

〔演出ノート〕
明るく、元気よく



②

一九四五年八月六日、運命の時間が刻一刻と近づいています。

(間)

ゲンは、学校の校門にさしかかったところで、同級生のおばさんによびとめられました。

そのとき、ふと見上げると真っ青な空の中をキラリと機体を光らせて飛ぶ、エノラ・ゲイ号の姿が目に入りました。

ゲン

「あつ、おばさん。B29じゃ！」

おどろいたように

おばさん

「ほんまじゃ……どうしたんじやろう。」

不思議そうに

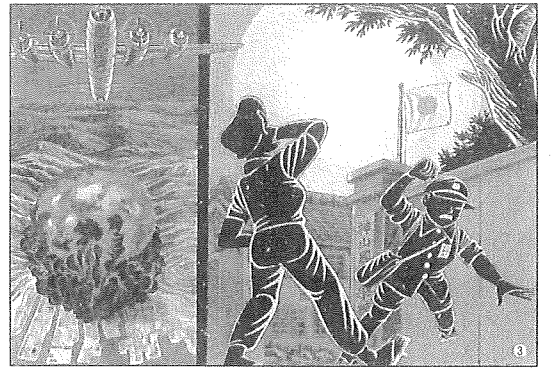
堂々と飛んどるのに空襲警報くうしゆうけいほうのサイレンが鳴らんねえ……」

二人は不思議に思いながら、B29を見上げていました。

同じ頃、多くの広島市民が、エノラ・ゲイの姿を目撃しています。しかし、だれもが偵察機ていさつぎだと思っていたのです。そして、数秒後……。

……さつとぬく……

ゆつくりと



③

ピカーツ!

ドーン!

一瞬の閃光^{せんこう}が、広島^{ひろしま}の街を暗闇のど
ん底に投げ入れました。

八時十五分、市の中心部上空六〇〇
メートルで炸烈^{さくれつ}した火の玉は、みるみ
るうちにふくれあがり、人も木も建物
も大地も一瞬にして溶^とかし、焼きつく
しました。

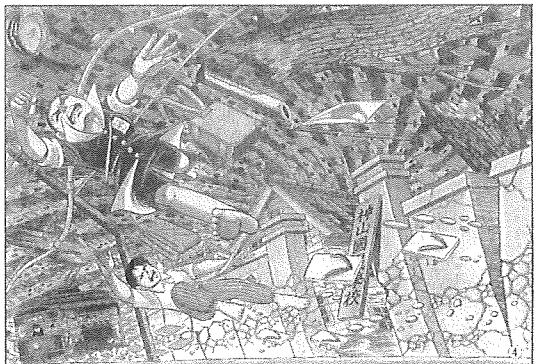
ゴゴゴゴオッツ。

真っ赤な巨大な火の玉の原子雲^{げんしぐも}が、
まるで悪魔が吠えるように立ち上がっ
ています。

……ぬく……

激しい調子で

激しい調子で



④

秒速二三〇メートル以上のものすごい爆風が、ゴーツと上空から大地をたたきつけ、その衝撃波は、人や家や建物、電車……すべてを吹き飛ばしつぶしていきました。

ゲン

「うわーっ！」

おばさん

「きゃー！」

ゲンもおばさんも木の葉のように吹き飛んで行きます。

ゴゴゴー。

ゴゴゴゴオー。

天と地を裂くかのような不気味なうなりが、広島の大地をおおいつくしています。

……ぬく……

大声で



5

どのくらい気を失っていたのか、ゲンが気がついて目をあけると、あたりはまるで夜がきたかのように、煙で真っ黒になっていました。

ゲンの背中の上には、学校の塀へいがななめになってのしかかっています。それが奇跡的にゲンの命を救ったのです。いったいなにが起きたのか――。

ゲン

「ごりや、いったいどうしたんじや」

ゲンは、夢中で背中の上のしかかっているレンガや瓦かわらや小石や木ぎれをはねのけ、やっとの思いで塀の下から抜けだしました。

……ぬく……

おどろいた声で